

MWE 2013

2013 Microwave Workshops and Exhibition

H25会自08

開催日 平成25年11月27日～平成25年11月29日(3日間)
開催地 パシフィコ横浜・アネックスホール、展示ホールD(横浜市)
申請者 一般財団法人 NHKエンジニアリングシステム
チーフエンジニア MWE2013実行委員長 九 鬼 孝 夫

会議の概要と成果

2013 Microwave Workshops and Exhibitionは、2013年11月27日(水)～11月29日(金)の3日間を会期とし、パシフィコ横浜で開催された。

基調コンセプトとして、「スマートな生活を創造するワイヤレステクノロジー("Wireless Technology," Drivers for Smart Life)」を掲げ、通信機器、家電、エネルギー機器の分野で無線通信や伝送技術が上手に活用されている現在の社会を見つめ、ワイヤレス技術がより身近に、将来の私たちの生活を豊かにするビジョンを展望することとした。

基調講演では、竹内芳明氏(総務省総合通信基盤局電波部電波政策課 課長)をお招きし、現況を踏まえ、グローバルなワイヤレスブロードバンド環境の構築や新たな無線システムの導入に向けた取組など、最新の電波政策に関する動向についてご紹介いただいた。

特別講演として、開会式では荒木純道氏(東京工業大学大学院理工学研究科 教授)による「ソフトウェア無線機の構築に向けて」と、特別セッションでは奥村善久氏(金沢工業大学名誉教授、元日本電信電話公社)による「自動車電話・携帯電話の黎明期から成長発展期に至る無線方式・技術の研究開発」のお話をいた

だいた。

基礎講座、ワークショップでは、会場をアネックスホールと展示ホールにわけて開催し、参加者の目的をかなえるセッション構成を意図した。初学者を対象にした基礎講座4件に加え、今回はマイクロ波の基礎技術をよりかみ砕いて解説する入門講座2件を新たに設けた。専門家向けには、ワイヤレス分野やマイクロ波に関連した最新技術を発表・討論する14件のワークショップを開催した。

マイクロウェーブ展は、国内外企業112社による185小間の出展ブース、および3社のベンチャー企業による出展ブース、移動体通信とラジオ・テレビ放送の黎明期の技術史料や基調コンセプトパネル(出展社5社)を展示した特別企画展示コーナー、恒例の歴史展示コーナー、さらに29研究機関による大学展示コーナーで構成した。厳しい経済状況ながら、出展企業社数、小間数とも昨年からやや増加した。また展示会場内には出展企業による最新の出展製品を解説するセミナー会場も2会場設け、盛況裏にマイクロウェーブ展が行われた。

本年のMWE 2013は、5,425人の総登録者数(MWE 2012より2%増)および188小間の総出展数(MWE 2012より3%増)を記録し、多くの方々に参加頂くことができた。これは、MWE

がマイクロ波関連のイベントとして確実に定着しており、また景気の回復に伴い登録者数および出展数ともに回復傾向にあることの現れであると考えられる。「スマートな生活を創造するワイヤレステクノロジー」を基調コンセプトとし、これまでの無線通信中心の技術分野に対してセンサネットワークやワイヤレス給電など生活を豊かにする新たなアプリケーションを開拓することで、MWEの特徴である多目的指向型の来場者を積極的にサポートしたことが、

ワークショップでの高い聴講比率を導いたものと自負している。また、マイクロウェーブ展にも、多くの出展社数、展示総小間数が集まり盛大な展示会となった。大学の研究活動や成果の一端を紹介する大学展示コーナーも魅力ある内容で多くの参加者を惹きつけた。さらに、大学展示コンテストでは、展示する学生諸君にとって、自身の研究を再確認する良い機会になったと共に、ポスター展示ならびに説明の質の向上にも繋がったと考えている。